

アクリルの作業行程プリント

1 けがき

- (1) 木材部に合わせてアクリルをあて、切断する線、曲げる線にかく。
- (2) さしがねで導きながら、アクリルカッターで片面を切り進む。(10回程度)
- (3) アクリルを裏返して(2)の行程を10回程度繰り返し、勇気をもって割る。
- (4) 失敗した部分がある場合は、紙やすりを上向きに置き、アクリルの出た部分を削る。紙やすりを木材片に巻いた状態で削る。手で持ったままでは、軟らかいので平らに削ることができない。



2 曲げる

- (1) アクリルヒーターに曲げる線を上にして乗せ、2分程度熱を加える。(下側の紙をはがしておく)
- (2) 十分軟らかくなったら、机の角にあてて一気に曲げる。その際、指で押さえずに木片でアクリルを押さえると均一に力が加わり平らに曲げることが可能である。30秒程度冷やす。冷やす際、しっかりと押さえないと浮き上がったまま固まってしまう。



3 デザイン作成印刷(自由選択)

- (1) 準備室にあるコンピュータでデスクトップ上の基本書式ファイルを立ち上げるとワードが立ち上がり文字入力可能となる。お好みの文字を入力し文字の大きさや形を決める。標準では最大72ポイントまでなので、これ以上の大きさを入力したいときは、フォントの数字を直接入力する。
- (2) プリンターにシール用紙の印刷面を上にしてセット

し左右反転した文字を印刷する。左右反転させるには、「ファイル印刷プロパティ詳細設定左右反転」と操作し、鏡文字印刷をする。

- (3) 文字を着色したいか文字以外を着色したいか決める。

*文字を着色したい・・・文字以外の部分を覆い隠すことが必要となる。(右図)

*文字を透明にしたい・・・アクリルに貼り付けたあとスプレーをすると、文字以外に着色される。



4 シール貼をする。(マスキング)

アクリルの裏からシールを貼る。シールが密着していないと隙間にスプレー粒子が入り込むので、つまみ等でしっかり押さえ密着させる。文字の周りを覆う必要がある時は、テープや紙を利用し、スプレーしたいところだけが残るようにする。

5 スプレー塗装

- (1) アクリルの裏側から塗装を行う。最初にアクリルの真上からスプレーを始めると、最初にたくさんの塗料が出てしまうので、極端に濃くなりたれてしまいやすい。そこで、最初はアクリルの真上ではなく、材料の外から始め、20cm～30cm程度の距離を保ち、缶をできるだけ立てたまま一定のスピードで横に移動しながら塗装し、乾燥させる。缶を横にすると塗料を吸い上げることができなくなり、ムラができやすい。濃くならないよう薄く均一に塗る。
- (2) 十分乾燥させる。
- (3) 二度目を塗り、乾燥させる。その後、シールはがし等を利用しながらマスキング紙をはがしていく。



6 開閉部の加工

- (1) 木材部分を削り込んでちょうつがいを埋め込む。削る幅はちょうつがいと同じにし、埋め込む量はちょうつがいの厚みとする。
- (2) ちょうつがいを取り付ける木材部分には、四つ目きりで木ネジも半分程度の穴を開ける。+ドライバーを使用しネジ山をつぶさないようにしっかり締める。
- (3) アクリル板にネジの穴をハンドドリルであけ貫通させる。その後アクリル部ネジをさしこみナットで止める。ネジをあまり強く締めるとアクリルが割れることがあるので、適度な力で締めておく。



7 木材部の表面塗装

これまでの工程が終了したら、水性オパールというニスで木材部の表面塗装を行う。

- (1) 木材表面の汚れや鉛筆跡などをなくす。
- (2) 表面を紙やすりで磨き凹凸をなくす。
- (3) 水性オパールを細かな部分から広げるように塗っていく。決して濃くならないよう気をつける。
- (4) 一度乾燥させてから二度目を塗る。